

UEDA CHRO- NICLE

—上田・小県洋画史100年の系譜—

上田 クロニクル (年代記)



岡鹿之助《雪の発電所》1956年 油彩・キャンパス
石橋財団アーティゾン美術館
Artizon Museum, Ishibashi Foundation, Tokyo

展示：上田市立美術館

|会場| (2会場同時開催)

サントミュージゼ上田市立美術館 9:00-17:00 (入場は16:30まで)
休館日：火曜日 (祝日の場合は翌日)

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 9:30-17:00 (入場は16:30まで)
休館日：月曜日 (祝日の場合は翌日)

|入館料| (2館共通券のみ)

一般600円(500円) / 高校・大学生400円(300円) / 小・中学生200円(100円)

()内は20名以上の団体料金。障がい者手帳携帯者とその介助者1名は無料。

主 催：上田クロニクル展実行委員会(構成団体：長野県上田市・長野県東御市)

共 催：週刊上田新聞社

2024

1.13 SAT

3.10 SUN

上田クロニクル

(年代記)

—上田・小県洋画史100年の系譜—

児童自由画教育運動や農民美術運動等、芸術家・山本鼎(1882-1946)によって私たちの暮らす長野県上田・小県地域に「美術」の種が蒔かれてから100年が経ちました。

鼎が蒔いた種は、戦前においては親友の倉田白羊が指導者となった洋画研究会「ノア会」、戦後は小杉放庵の紹介により来訪した岡鹿之助を指導者とする「鹿苑会」の活動により、多くの若者たちが芸術家への道歩み開花しました。「鹿苑会」は、岡鹿之助の没後、「春陽会東北信研究会」に発展し現在に至ります。この流れに属した人々が上田・小県地域の芸術文化の基礎を形作ってきました。

山本鼎の画業や美術運動に関する回顧展は、節目ごとにたびたび開催されてきましたが、彼を祖とする上田・小県地域の近代美術史を現代まで総覧し、紹介する展覧会は初めての試みとなります。本展では、近代上田・小県地域の絵画作品の制作活動を中心に据えて、それらの作家や作品を紹介するとともに、地域の美術史をアーカイブし、次代への継承を試みます。

第1章

山本鼎と「農民美術研究所」

(山本鼎 山崎省三、足立源一郎ほか)



山本鼎《自画像》

展示：上田市立美術館

第2章

倉田白羊と「ノア会」

(倉田白羊、関口義照、赤松新、中西義男ほか)



倉田白羊《雑木林の冬》

展示：東御市梅野記念絵画館

第3章

岡鹿之助と「鹿苑会」

(岡鹿之助、香掛利通、丸山恒雄、池田輝ほか)



香掛利通《雪の村》

展示：東御市梅野記念絵画館

第4章

地域の画壇を支える人々

(田中康夫、浦野吉人、米津福祐、小池悟ほか)



小池悟《方角'06-1》

展示：上田市立美術館

※このほか、伊川盛治、藤井令太郎、中村直人などの関係者も紹介。

サントミュージゼ 上田市立美術館

〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15

TEL:0268-27-2300

9:00~17:00/ 休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)

<https://www.santomyuze.com>



東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1

TEL:0268-61-6161

9:30~17:00/ 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

<https://www.umenokinen.com>



関連イベント

記念座談会「鹿苑会に集いし作家たち」

【パネリスト】田中康夫 浦野吉人 米津福祐 小坂井良一 矢杉京子 杉村俊明(予定)

【日時】2024年3月3日(日)13:30~15:00

【会場】上田市立美術館1階市民アトリエ・ギャラリー

【定員】50名(参加無料。当日受付)

夜のさんぽミュージゼ ガラリートーク

【日時】2024年2月2日(金)18:00~20:00

【会場】上田市立美術館 2階企画展示室

【料金】1,100円(観覧料・茶菓子代)

【定員】20名(要予約・先着順)

【申込】2024年1月13日(土)~28日(日)に電話で上田市立美術館へ。

ナイトミュージアムコンサート

【出演者】竹内遥香(ハープ) 田中美恵子(ピアノ)

【日時】2024年2月24日(土)18:00~19:00(受付開始17:00)

【会場】梅野記念絵画館

【料金】1,000円

【定員】40名(要予約)

【申込】2024年1月24日(水)~2月24日(土)に電話で東御市梅野記念絵画館へ。

UEDA CHRO- NICLE